

ヒト由来NADキナーゼ（触媒ドメイン）・組換え

Cat. No. NATE-1670

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

NADキナーゼは、ATPからNAD+へのリン酸基の転送を触媒し、NADP+を生成します。NADP+はその還元型で生合成反応の電子供与体として機能します。NADP+は代謝において不可欠な補酵素であり、脂肪酸合成などの生合成プロセスに還元力を提供します。

別名

NADK; ポリ (P) /ATP NADキナーゼ; EC 2.7.1.23

製品情報

種

人間

由来

大腸菌

形態

液体

製剤化

20% グリセロールを含む pH 8 の 20 mM Tris 中の 2 mg/mL 溶液。

EC番号

EC 2.7.1.23

分子量

~42 kDa (monomer). Human NAD kinase (aa 64-446) is fused at the N-terminus to a His-tag.

純度

> SDS-PAGEによる95%

活性

> 2U/mg タンパク質

濃度

1 mg/ml

単位定義

1ユニットは、1分あたり1μmolのNADPを合成する酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

再構成

遠心分離によって作業用アリコットを準備し、ペレットを50 mM Tris-HCl pH 7.5、150 mM 塩化ナトリウムおよび1 mM DTTに溶解します。

保管・発送情報

保存方法

アリコットを準備し、-20°Cで保存してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。